

学校教育目標（南の丘学園教育目標と統一）「夢に向かい 自分らしさを生かして ともに輝く子」
市の目指す子供像 「夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す 15 歳」

研修主題 自ら学び、共に学んで深める子の育成

目指す子供像

自ら学ぶ子 課題意識をもち、自ら学ぶ子

共に学ぶ子 自分の言葉で友達と話し合いをして考えを深める子

袋井型授業づくり

- ① 課題追求型の学習課題「?型学習課題」の提示と意識化。
- ② 思考を繰り返し、対話や議論によって追求する学びの創造。
- ③ 自分自身の納得解を表出する振り返りの場の設定。



思考を繰り返し、対話や議論によって追求する学び
『袋井型授業づくり』の継続

教師の「聞く・話す・つなげる」指導の充実（三部と連携）

個別最適な学びと協働的な学び

子供の実態に基づいた単元・題材構想

一人一人の様子を見取り、皆を
同じ土台にのせる支援

子供たちが自分ごととして捉え
られるようなめあて（学習課
題）づくり

子供の基礎的・基本的な力の定着

特別支援教育（一人一人を大切にした教育）

子供の実態

- 真面目で与えられた課題に対して、集中して取り組むことができる子が多い。
- 授業に主体的に取り組んでいて、内容が分かる子が多い。（学校評価アンケート）
- 自分の考えを伝えたり、話したりすることができる子が多い。（学校評価アンケート）
- 国語、算数共に学力がある程度身に付いている。（全国学力・学習状況調査）
- ▲自分の言葉で伝えようとする気持ちが低い。
- ▲話し合いを通して、さらに自分の考えを深めるというところまではできていない。